

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

## ②施設・事業所情報

名称：サンライズキッズ保育園 相模原園	種別：地域型保育事業（居宅訪問型保育事業除く）	
代表者氏名：小崎 あかね	定員（利用人数）：15 名	
所在地：〒252-0302 相模原市南区上鶴間6-31-8 グランシャリオ 1F		
TEL：050-5807-2160	ホームページ： <a href="https://www.sunrisekids-hoikuen.com/sagamihara/">https://www.sunrisekids-hoikuen.com/sagamihara/</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2017年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 エクシオジャパン		
職員数	常勤職員：6 名	非常勤職員：7 名
専門職員	（専門職の名称）： 名	
	保育士：11 名	栄養士：1 名
施設・設備 の概要	（居室数）	
	0歳児保育室	事務・医務室
	1歳児保育室	調理室
	2歳児保育室	調乳室

## ③理念・基本方針

## &lt;理念&gt;

もっと輝け、明日のぼく・わたし！

周りに光とパワーを与える、ぽかぽか暖かい太陽のような子になろう。

## &lt;基本方針&gt;

1. ひとりひとりの個性を大切に保育する。

●どんなに小さな子どもでも立派な一人のかけがえのない存在です。小さな子どもにとって、1日はとても長く、1分1秒の間に様々なことを感じ取ります。

2. たっぴりの愛情で保育します。

●言葉にして訴えることが難しい時期だからこそ、一人ひとりの欲求を受け止め、小さな変化も見逃さず「ありのまま」を受け入れ、その時々合った対応、援助をします。

## &lt;保育目標&gt;

●自分に自信を持つ

●想像力を育もう

●お互いを理解しよう

●心身ともにたくましくなろう

●自然を愛する心を持つ

- 目標に向かってがんばろう
- 礼儀正しい子になろう

④施設・事業所の特徴的な取組

<p>&lt;サンライズキッズ保育園 相模原園の特徴的な取り組み&gt;</p> <p>1. 充実したカリキュラム導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●育脳プログラム（リトミック・英語・体操）、フラッシュカード・ドッツカードの利用</li> <li>●読み聞かせプログラム（一日10冊以上の絵本）</li> <li>●道徳カリキュラム（絵本の利用等）</li> <li>●食育/植栽への取り組み（自園調理へのこだわり等）</li> </ul> <p>2. 保育園ICTシステム導入による効率的かつ保護者との連携がとりやすい保育体制</p> <p>3. 毎月実施の社内研修制度による保育士のレベルアップ</p>	
--	--

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年04月20日（契約日） ～ 2021年09月02日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（ 年度）

⑥総評

<p>【サンライズキッズ保育園 相模原園の概要】</p> <p>●サンライズキッズ保育園相模原園（以下、本園という）は、株式会社エクシオジャパン（以下、法人という）が運営する小規模保育園です。法人は、平成24年に保育事業に参入し、「子どもたちの無限の可能性を引き出し未来へ羽ばたく人材の育成」という目標を掲げ、地域の待機児童問題の解消のため、現在、神奈川県内の4園を含め全国で29園の小規模保育園の運営を行っています。法人は、かけがえのない大切なお子様を「常に安心して預けられる園」であることはもちろん、伸び伸びと自己表現が可能な環境で、感性豊かな心の形成を目指しています。「もっと輝け、明日のぼく、わたし！周りに光とパワーを与える、ほかほか暖かい太陽のような子になろう。」を保育理念として掲げ、心身共に健康な園児を育み、また職員も明るく保育ができる保育施設を運営しています。</p> <p>●本園は、小田急江ノ島線「東林間駅」から徒歩1分の場所に位置し、利便性も高く、保護者・子どもが安心して通園ができます。園内はゆったりとした空間で、愛着関係を密に築くことができる少人数制の特性を生かして保育に当たっています。また、系列園全体で、0歳～2歳の時期が脳の成長の一番大切な時期であるという認識の下、育脳プログラムを採用し、体操・リトミック・英語カリキュラムを取り入れる等、充実した保育の提供を行っています。園庭は有していませんが、出来るだけ毎日散歩に出かけ、体を動かす機会を提供し、月齢・年齢に合った様々な遊びができる体制を整えています。</p> <p>◇特に評価の高い点</p> <p>1. 【保育の質の向上のための法人本部との連携】</p> <p>●保育の質の向上のため、様々な面で本部との連携が有効に機能しています。園から法人本部への報告事項で、毎週水曜日「設備・散歩コース等を点検簿での安全確認」・毎週木曜日「SIDS対応で午睡中の園児の様子を写真で送付」・毎週金曜日「ヒヤリハットや事故の事例報告」等を行い、法人本部のサポートで問題解決に取り組んでいます。子どもたちが快適に過ごすための園内美化にも注力しており、毎週金曜日に「園内数力所の写真送付」を行い、法人本部に美化報告を行っています。また、全園共通の保育園ICTシステム導入により、指導計画や各園からの情報提供及び報告・連絡・相談等が迅速に</p>
---

行われ、業務効率化に役立っている他、連絡帳や保育に関する記録が全てクラウド上で管理され、園長・職員・法人本部スタッフが確認できることで、保護者との連携が取りやすい保育体制が構築されています。問題が生じた場合は法人本部でチェックや指導が行われ、サポートが常にあり、問題解決にもスムーズに取り組み、双方の連携により保護者への対応も迅速に行われています。

## 2. 【子どもの適切な健康管理と保育に対する取り組み】

●子どもに対して、利用開始時における健康診断を含め、適切な健康管理に取り組んでいます。毎月園内で行う身体測定や、1日1回以上の着替えを行い、必ず全身のチェックを行っています。相模原市の指導で、健康診断は少なくとも0歳児は2カ月に1回・1歳児は3ヶ月に1回・2歳児は1年に2回、歯科健診は年に2回実施しています。結果は、記録し、保護者へは連絡帳で伝え、職員間で情報共有をしています。健康診断・歯科健診の結果については園の保健計画等に反映させ、保育に生かしています。さらに、健康診断・歯科健診の結果が家庭での生活に生かされ、保育に有効に反映させるよう保護者と連携して取り組んでいます。子どもの体調悪化・ケガ等については、その日の内に保護者に伝えると共に事後の確認を必ず行い、子ども一人ひとりの健康管理に十分留意しています。

## 3. 【食育への取り組み】

●園の特徴的な取り組みとして、「食育・植栽」への取り組みに注力しています。マニュアルに基づき徹底した衛生管理の下、栄養管理と子どもの状態に応じた食事の提供を行っています。また、自園調理による昼給食、手作りおやつを提供を行っています。年齢別の食育指導計画を作成し、発達に合わせた調理方法に配慮し、子どもらが自ら意欲を持って食事できるよう取り組んでいます。本園の栄養士はグループの副代表栄養士であり、法人系列園全体の定期的な指導も行っています。昨年度から法人系列園全体で野菜の栽培等も実施し、食への興味・関心を深める工夫にも力を入れています。給食だよりは毎月作成及び配付を行い、朝ごはんの大切さの啓発や、おやつレシピを紹介する等して家庭での食育につなげています。毎日の子どもの喫食状況については、保護者へ連絡帳で報告し、家庭での食事の配慮につなげてもらっています。給食サンプルはホームページに表示し、いつでも閲覧できるようにしています。

◇改善を求められる点

### 1. 【職員の定着と育成への取り組み】

●毎月の社内研修・調理スタッフ研修（2カ月に1回）・園長研修（2カ月に1回）等、職員一人ひとりの教育・研修の機会は確保されています。また、年4回の自己評価・毎月実施の職員面談・職員による360度査定等、職員の意向・意見の把握ができています。職員それぞれに合わせた条件で働く変形労働時間制が設けられ、サンライズの約束「持ち帰り仕事はしない」を基本的考え方として運営する等、職員のワーク・ライフ・バランスを考えて取り組んでいます。職員間で臨機応変に協力し合い、働きやすい職場作りに努めていますが、経験値の浅い職員も在籍しており、引き続き、職員個々の仕事上の悩みや不安を早い段階で解決していく取り組みが望まれます。また、経験値の浅い職員を対象に、課題や目標を決めて保育に取り組み、本部と共有し、スキルアップを図っていかれることを期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名： 株式会社エクシオジャパン サンライズキッズ保育園 相模原園

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

評価に取り組み、改めて園の様子や改善点を見ることができ、保育者間で新たな視点での評価をすることができた。

今後も良い園づくりを目指し、他園や本部と共に向上していきたい。

《株式会社エクシオジャパン 保育事業部の感想》

先日は数日間に渡り、第三者評価の実施をありがとうございました。今年度から勤務する施設長が多い中、改めて本部と施設長の方向性、認識を見直し、統一する良い機会になったと感じております。

結果を拝見させていただきました。その中でもやはり本部と現場の連携の重要性を感じました。現場の温度感を本部でも忘れることなく、より密な「報・連・相」を心がけて園づくりをしてまいります。

<評価後取り組んだ事として>

1. 保育者間で評価結果を共有し、引き続き子ども一人ひとりに寄り添った保育をしていく。

また、保育士一人ひとりも向上心を持ち、取り組んだ。

2. 園として取り組めることを増やすため、大切にしている絵本の読み聞かせの「読み聞かせセミナー」開催のための勉強会を行う。

3. 保育者獲得のため、地域での保育士育成にも力を入れる。  
周辺住宅にチラシを配布して、知ってもらえるようにする。

《株式会社エクシオジャパン 保育事業部での取り組み》

1. 園長の認識ズレがあった箇所のすり合わせ

2. 本部内での総評の共有

3. キャリアアップ研修を積極的に受けられるような案内周知

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり